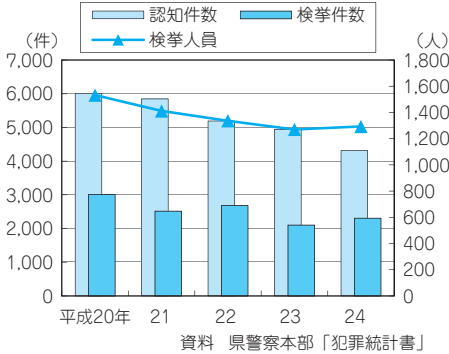


犯罪・火災に関する主な指標

指標名	鳥取県	順位	全国	年次
*刑法犯認知件数 (人口1万人当たり)	74.1件	14	108.4件	24
刑法犯検挙率	53.6%	4	31.7%	24
*出火件数(人口1万人当たり)	4.34件	35	3.91件	23

刑法犯認知・検挙件数及び  
検挙人員の推移



(犯罪)

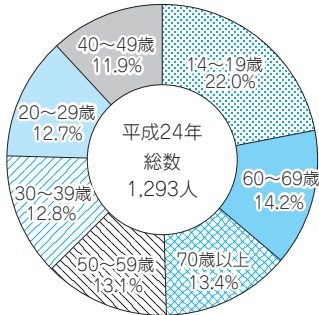
平成20年から平成24年までの犯罪統計書を見ると、刑法犯認知件数は減少傾向で推移しており、平成24年は4,313件でした。

平成24年の犯行時の年齢階級別刑法犯検挙人員の割合を見ると、「14～19歳」の占める割合が最も高く、次いで「60～69歳」「70歳以上」の順となっています。

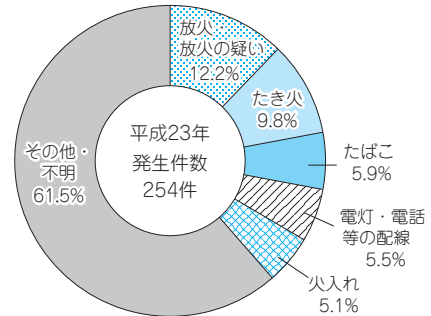
(火災)

平成23年の消防防災年報によると発生件数は254件で、前年に比べて10件増加しました。原因別火災発生件数の割合を見ると、「放火・放火の疑い」の占める割合が最も高く、次いで「たき火」「たばこ」の順となっています。

犯行時の年齢階級別刑法犯  
検挙人員の割合



原因別火災発生件数の割合



刑法犯 罪種別認知件数の推移

単位：件

年次	認知総数	窃盗犯	知能犯	粗暴犯	風俗犯	凶悪犯	その他
平成20年	6,005	4,360	317	177	41	24	1,086
21	5,845	4,393	227	172	44	24	985
22	5,189	3,892	144	187	35	20	911
23	4,941	3,799	157	157	25	16	787
24	4,313	3,292	176	178	39	18	610

資料 県警察本部「犯罪統計書」

（交通事故）

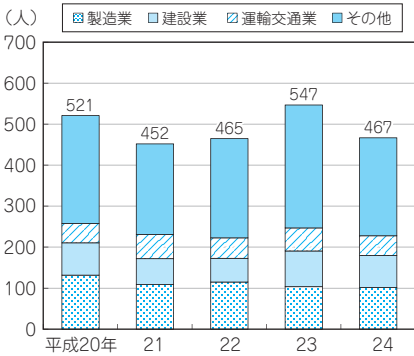
平成20年から平成24年までの交通事故の発生件数と死傷者数の推移を見ると、発生件数及び死傷者数共に年々減少しています。

平成24年の交通事故の状態別死傷者の割合を見ると、「自動車運転中」の占める割合が最も高く、次いで「自動車同乗中」、「自転車運転中」の順となっています。

（労働災害）

平成20年から平成24年までの鳥取労働局の資料による労働災害死傷者数の推移を見ると、減少していた死傷者数が平成22年以降は増加していましたが、平成24年は前年と比べ15%の大幅減少に転じました。

労働災害死傷者数の推移

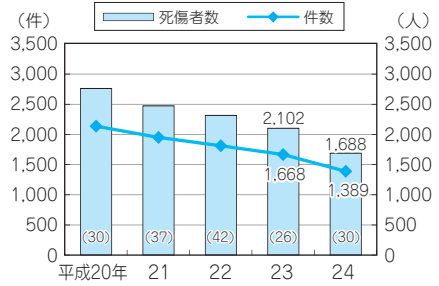


資料 鳥取労働局「労働災害発生状況」

交通に関する主な指標

指標名	鳥取県	順位	全国	年次
*交通事故発生件数 (人口1万人当たり)	23.9件	1	52.2件	24
*交通事故死傷者数 (人口1万人当たり)	29.0人	1	65.1人	24
*道路交通法違反取締件数 (人口千人当たり)	44.3件	11	61.4件	23

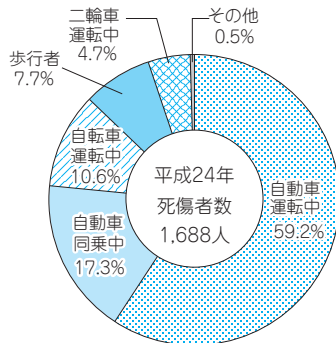
交通事故の発生件数と死傷者数の推移



\* ( ) 内は死者数。

資料 県警察本部「交通事故発生状況」

交通事故の状態別死傷者の割合



資料 県警察本部「交通事故発生状況」

交通事故の年齢別死傷者数

単位：人

年次	総数	幼児	小学生	中学生	高校生	その他 の少年	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上
平成20年	2,763	50	78	39	75	88	521	479	387	395	329	322
21	2,476	29	74	33	61	69	452	438	333	331	342	314
22	2,315	35	61	40	70	74	429	375	336	357	262	276
23	2,102	31	69	44	64	52	395	390	293	289	247	228
24	1,688	23	39	19	50	40	296	328	275	222	201	195

資料 県警察本部「交通事故発生状況」